

情報ネットワーク論I 概要

2003年度

授業概要

- コンピュータネットワークを支える技術を概観
 - － 現在の基盤環境を支える重要な幾つかの技術について解説
 - ネットワーク・アーキテクチャ
 - インターネット技術
 - 対象となる技術の成り立ち
 - － 私たちが日々使っているネットワークがどのような技術によって構築されているかが分かるようになることが目標
 - インターネット技術にかなり強くフォーカス
 - コンピュータネットワークの成り立ちを理解する

担当教官

- 山口 英 (やまぐち すぐる)
 - － 情報科学研究科インターネット工学講座・教授
 - － インターネット技術
 - ・ セキュリティ
 - ・ 情報共有基盤環境技術
- 門林 雄基 (かどばやし ゆうき)
 - － 情報科学研究科インターネット工学講座・助教授
 - － インターネット技術
 - ・ High-Performance Computing
 - ・ 融合技術

日程

Day		話題	担当	
4/11	F	コンピュータネットワーク概要	山口	
4/16	W	コンピュータネットワーク概要 (つづき)	山口	
4/18	F	階層型プロトコルとTCP/IP	門林	From Tokyo
4/23	W	階層型プロトコルとTCP/IP (つづき)	門林	
4/25	F	データリンク技術	山口	
4/30	W	データリンク技術 (つづき)	山口	
5/2	F	IPv4	山口	
5/7	W	IPv4 (つづき)	山口	
5/9	F	IPv6	山口	From Tokyo
5/14	W	IPv6 (つづき)	山口	
5/16	F	TCP (1)	門林	From Tokyo
5/21	W	TCP (2)	門林	
5/23	F	経路制御 (1)	門林	
5/28	W	経路制御 (2)	門林	
5/30	F	プレゼンテーション層技術とXML	門林	From Tokyo
6/4	W	試験		

授業資料

- 授業で用いるViewgraphと同じものを提供
- WWWサイトからダウンロード
 - <http://iplab.aist-nara.ac.jp/> からリンクを設定
 - PDFフォーマットファイル
 - Acrobat Reader で読むことができます
 - プリントアウト用のフォーマットで整形
- 現在ホームページ準備中
 - 4月16日までに利用可能にします

レポート

- 目標
 - 解説した技術トピックについて、その理解を深める
 - 授業には時間制限があるので、どうしても十分に説明できるわけではない
 - 各個人の理解度の差
 - 関連する技術、あるいは、特定の技術のより詳細な理解を得る
- 実施概要
 - 課題提示
 - 個別のテーマの終わりに課題提示
 - 提出
 - 課題提示の1週間後
 - 提出先は情報事務室 (1階) に紙で
 - オンラインでの提出も検討中
- 詳細は授業ホームページで

試験

- 2003年6月4日(水曜日)
- 論述試験
 - － 持ち込みは何でも可
 - ・ ラップトップ、資料のコピー、辞書....
 - ・ 「理解」と「考察」を要求する問題から構成
 - － 他人と相談するのはダメ
 - ・ 試験とは、**個人**の理解度を計る手段

成績評価

- レポートと試験の両方で評価
 - － 試験:60%
 - － レポート:40%

その他

- 参考書の一覧
 - ホームページに提示
 - 必要に応じて適宜追加します
- 授業に関する連絡
 - ホームページを積極利用するので、定期的にチェックしてください
 - <http://iplab.aist-nara.ac.jp/>